

1 主題名 他に学ぶ (2—(5) 寛容・謙虚)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目2—(5)は「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容な心をもち謙虚に他に学ぶ」ことをねらいとしている。中学生の時期は、ものの見方、考え方方に違いが現れてくるので、自分の考えや立場に固執する傾向が強くなり、家族間、友人間に意見の対立や摩擦が生じることがある。また、この時期は、反抗期にもあたり、わがままを言ったり、寛容さと謙虚さに欠けたりすることも少なくない。夢を追いかけていくこの時期に、自分の信念を貫く心を養っていくことは大切である。一方で、未熟な一面もあり、寛容な心をもち謙虚に他に学ぶことで人間としての成長に役立つことが多く、寛容な心や謙虚な心を養っていく必要性を強く感じる。本時は、さまざまな立場の考え方があることを理解して、寛容な心をもち謙虚に他に学ぼうとする態度を養っていきたい。

(2) 生徒の実態について (平成26年1月9日実施、調査人数\*人)

1 相手の立場や気持ちを考えずに、自己中心的な言動をとってしまうことはありますか。

ア よくある \*人 イ たまにある \*人 ウ あまりない \*人 エ ほとんどない \*人

2 1でア、イと答えた人に聞きます。それはどんなときですか。

自己中心的な態度をとられたとき、悪ふざけをしたとき、はしゃぎすぎたとき、体調が悪いとき、普段の会話のとき、ムカムカしているとき、相手がなかなか答えてくれないとき

3 家族や友人と意見が対立したときに、あなたはどうしますか。

文句を言ってケンカする、自分の意見を突き通す、自分の意見を押し切る、意見をもう一度言う、そのままにする、互いの意見を言って話し合う、相手の意見を聞いてもう一度考え直す、相手の意見にまかせる、謝る、謝らせる

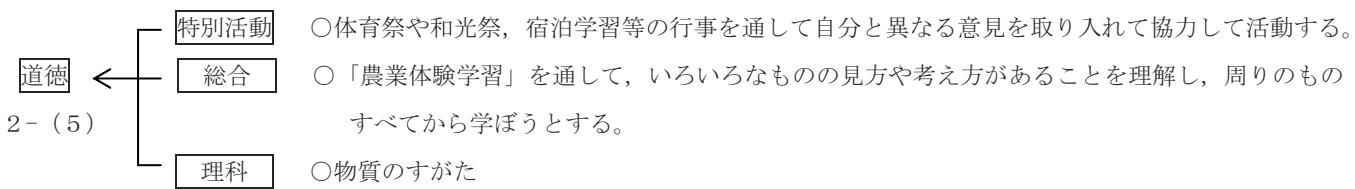
本学級は、一人一人の個性を認め合い、全員が過ごしやすく、互いの力を高めあえるような学級を目指している。そのため、学習面や部活動などの目標をもち、理想の実現のために努力し、個性を認め合うことの大切さをしっかりと理解できている生徒が多い。一方で体育祭や和光祭、宿泊学習などの行事やこれまでの学校生活では、友人同士で意見の対立があり、相手の立場や気持ちを考えることができずに自己中心的な言動をとってしまう生徒、自分の意見を押し切って話し合いにならない生徒もみられている。そこで本時は、自分だけの一方的な考え方をするのではなく、さまざまな立場の見方や考え方を理解し、寛容な心をもち謙虚に他に学ぼうとする態度を育てていきたい。

(3) 資料について (読み物資料「茂の悩み」 福田鉄雄)

本資料は、バスケットボール部のキャプテンである茂が、技量の劣るチームメイトの正夫をレギュラーから外すべきかどうかについて、他の部員の様々な意見の間で悩む姿が描かれている。

技量の落ちる正夫を「チーム全体のため」に外そうという意見をもつ副キャプテンの浩二や1年生、チームに迷惑を掛けまいと熱心にバスケットボールの自主練習に取り組む正夫とチームメイトの稔、それぞれの立場によっていろいろな考え方があることが理解できる資料である。浩二が「あんなやつ外した方がいいぜ」と言ったとき、レギュラーの辞退を説得するために正夫の家に向かう途中に稔と正夫が自主練習をしているのを見たとき、その次の日の茂・浩二・信一郎の会話に稔が入ってきたとき、それぞれの場面で茂の心の中で「レギュラーから外す」気持ちと「レギュラーから外さない」気持ちがどのような割合であるのか、またそう考える根拠を問い合わせ、本時のねらいに迫っていきたい。

3 各教科等における道徳教育との関連



なぞの白い粉を同定するために、さまざまなものを見方や考え方で実験方法を考える。

## 4 本時の指導

### (1) 目標

- さまざまな立場の考え方があることを理解して、謙虚に他に学ぼうとする態度を育てる。
- (2) 準備・資料 揭示物（登場人物、イラスト）、資料「茂の悩み」、ワークシート、心の円グラフ、赤ペン、青ペン、定規
- (3) 展開

時 分	主な活動と発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
2 分 30 分	<p>1 本時の資料がバスケットボール部での話であることを知り、資料「茂の悩み」を読み、話し合う。</p> <p>・登場人物を確認する。</p> <p>・茂の部活に対する気持ちを確認する。</p> <p>○副キャプテンの浩二に「あんなやつ、外したほうがいいぜ」と言われ、茂はどう思ったでしょう。</p> <p>・心の円グラフで「レギュラーから外す」気持ちと「レギュラーから外さない」気持ちの割合を表し、話し合う。</p> <p>○稔とシュート練習をする正夫の姿を見たとき、茂はどう思ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動での話か。</li> <li>・先生もバスケットボール部の顧問だ。</li> <li>・茂、浩二、信一郎、稔、正夫、1年生、田中先生。</li> <li>・早く来て練習するほど、やる気。</li> <li>・新人戦でベスト4以上の成績を必ず残したい。</li> </ul> <p>【レギュラーから外す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浩二の不満もたまっているし、外しても良いかな。</li> <li>・レギュラーから外すと、1年生の信頼を得ることができるし、今後の部活がやりやすくなる。</li> <li>・雄一郎も上達しているし、勝てるかもしれない。</li> </ul> <p>【レギュラーから外さない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正夫がこんなに努力していたなんて。</li> <li>・こんな姿を見たら、とてもレギュラーを外してくれなんて言い出せないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動を活発にさせるために「コの字の型」にしておく。</li> <li>・資料が長いので、登場人物やあらすじを丁寧に確認する。</li> <li>・資料を読んだら、机の中にしまわせる。</li> <li>・図や絵を用いて視覚的にあらすじを理解できるように、板書構成を工夫する。</li> <li>・心の円グラフを使用し、「レギュラーから外す」気持ちと「レギュラーから外さない」気持ちの割合を表しやすくする。</li> <li>・「なぜそう考えたか」、「具体的にどういうことか」などの発問で、言語化させ、より深く考えさせる。</li> <li>・それぞれの発問に対して、心の円グラフを使用して、茂の心の変容を捉えやすくする。</li> </ul>

### ◎浩二と信一郎との会話に稔が入ってきたとき、茂はどんなことを思ったでしょう。

15 分 3 分	<p>・自分の考えをワークシートに記入し、意見を発表する。</p> <p>3 自分自身を振り返り、これからの自分を考える。</p> <p>○これまでの学校生活（行事、部活動等）の経験を生かして、もし、あなたが茂だったら、このあとどうしますか。</p> <p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浩二と1年生の信頼を得ことができて勝てるかもしれないけど、正夫と稔に申し訳ない。</li> <li>・チームのために努力している正夫と稔を大切にしたいけど、部員からの信頼がなくなるかも。</li> <li>・正夫が努力しているのもわかるけど、勝利のためにレギュラーも外れてもらわないと。でも、正夫と稔にもしっかり説明しないといけないな。</li> <li>・努力しているから、正夫にポストプレーをしっかりやってもらおう。浩二と1年生には、正夫の努力を教えてあげないと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間巡回を行い、生徒の考えを整理しておく。また、考えを書けない生徒にはそれぞれの立場になって考えてみるように助言する。</li> <li>・振り返りの時間を十分に確保して、ワークシートに記入させる。</li> <li>・いつも意見を通そうとする生徒に、日常生活での自分ならどうするか、助言する。</li> <li>・色々な立場の人の気持ちを考えるよう�数回、助言し、謙虚に他から学ぶ大切さに気が付かせたい。</li> </ul>
-------------------	--	---	--

### (4) 努力事項（学校教育指導方針）との関連

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育を「補充・深化・統合」することで、さまざまな立場の考え方があることを理解して、謙虚に他に学ぼうとする態度を育てる機会としたい。

### (5) 板書計画

